



¡OLE!

Don Quijote, Vol.44 montado en un avión

スペイン各地での
エピソード⑦

texto : Takeshi Shimizu fotos : Mie Shida

グラナダ アルハンブラ宮殿 はるかなる歴史の重みと美の光彩

『ドン・キホーテ』の取材で訪れていたラ・マンチャから列車でグラナダに到着すると、まずアルバイシンに行きました。世界遺産に指定されているこの地区は、イスラムの統治下で城塞都市として発展しました。白い家の壁に挟まれた狭い道が迷路のように入り組んでいます。タクシーとほぼ同じ車幅の小さな観光バスが、道路わきの家をこすりつけんばかりに縫って上がっていきます。私はこの狭い道を徒歩で登り、サン・ニコラス広場の展望台に立ちました。



サン・ニコラス展望から望むアルハンブラ宮殿



アルハンブラ宮殿から見る白い街並み



アルハンブラ宮殿:ライオンの中庭



存在感を放つアラベスク模様の壁

なんとという壮大な光景!なんとと勇壮で重厚なシーンの広がり! 谷を挟んだ向こうに、赤褐色のアルハンブラ宮殿が荘重に伸びています。その右側前方には遠くまで広がるグラナダの市内。左後方にはシエラネバダ山脈の雄姿が迫っています。ため息が出るような感動との出会いです。撮影場所を変えてはカメラのシャッターを押している各国からの観光客一。

どこからかギター演奏が聞こえてきました。展望台の淵に腰かけ、歌いながらギターをつま弾く男性二人。その前で一人の踊り子が、曲に合わせてフラメンコを踊っていました。たぶん観光用でしょうが旅の情感を高めてくれます。

グラナダ市内のホテルに一泊した私は、翌朝、8時半の一番早い開門時間にアルハンブラ宮殿に着きました。まず日本でインターネットで購入した予約券を受付で入場券に取り換えてもらいました。(参考までに:旅行者等を通した団体客は別として、個人の場合には事前に入場券を確保しないと入れないことが多い。アルハンブラはスペインでも最も人気のある世界遺産。一日の入場者が7000人、年間の観光客が200万人を超えるため30分間隔で入場を制限し事前予約を徹底している。券はインターネットで日本からも予約できる)

私は訪問客で混み合う前の清冽な宮殿内を散策しました。手の行き届いた木々や垣根の緑が美しい。宮殿の壁は極めて精巧なアラベスク模様。部屋の天井は鍾乳石飾りの表現しがたい美の極致です。アラヤネスの中庭、ライオンの中庭と、どこも圧倒的な歴史の重みと美の光彩が迫ってきます。

Granada - Alhambra -

清水武 Takeshi Shimizu 旅行作家
世界文学紀行を定年後のライフワークに作品の舞台を訪ねている。
東京都・昭島市在住
<http://homepage2.nifty.com/donky/>



中庭の四方を、124本の大理石の柱が林立する優雅な回廊

歴代の王の居城としての華麗な王宮にはイスラム芸術の粋が残っています。コロンブスの新大陸到着の年でもある1492年、宮殿の無血開城により、カトリックの軍によるレコンキスタ(国土回復運動)は終わりを告げたのです。アルハンブラはイスラム王朝の最後の砦でした。歴史の盛衰とその陰にある権力抗争——これ

を日本人受けする“滅びの美学”と表した作家もいたようですが、なるほど、そんな気分がしないでもありません。

宮殿の敷地内には国営ホテル・パドールがあります。建物は15世紀の修道院を改装したのですが、ここに泊まり、夜、天空の月を眺めれば、まさに「荒城の月」の実感がしてくるかもしれません。クラシックギターの名手タレガは、この宮殿を流れる水の音律をモチーフにトレモノ奏法で有名な名曲「アルハンブラの思い出」を作曲しました。アルバイシンの展望台を思い出すにつけ、アルハンブラにはやはりギターがよく似合うのです。

さらにグラナダ旅行を楽しむためのChips

フラメンコは観光客向けのタブラオより、毎週のようにあちこちで開かれている地元のフェスティバルなどでの観賞がお勧めです。4人の有名バイラオールが踊るコンサート(2007年10月26日)に出かけ、大感動でした。まずは広いホールを次々と埋め尽くしていく正装したスペイン人達に興奮。波打つ黒髪を伸ばし、ひげを生やし、スーツを着込んだヒターノ達。映画で観る娼婦顔負けの厚化粧を施し、髪をこてこてに巻いて結び上げ、光るドレスにピンヒールのヒターノ達。舞台の途中も、手を振り上げ、足を鳴らして夢中になって観る彼らに圧倒されました。若い男の子が口をぽかんとあけながら舞台にひき込まれていたり、踊り終わった瞬間に皆立ち上がった。

踊り手4人それぞれがお互いに高めあい、観客と一体化していく様子は圧巻でした。

また、学生の多いグラナダでは、おつまみのタパスが大きく、無料なことで有名です。2ユーロ前後でビールやワイン1杯を頼むと必ず1つついてくるので、3杯も頼めばお腹いっぱい! 中心部ならEl Vira通りに学生向けで安く美味しいところがたくさんあります。夏の飲み物はTinto de Verano(赤ワインのレモンジュース割り)かClara / Cervaza con limón(ビールのレモンジュース割)がお勧めです。



写真はグラナダ大学の語学センターで行われた無料のフラメンココンサートで踊った女性のものです。

文・写真/志田実恵(編集部)
texto y fotos: Mie Shida